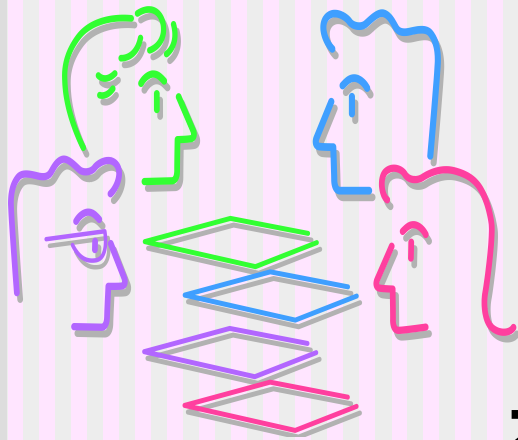


日本語英語発音が 話者の対人魅力に及ぼす影響



Aug. 07, 2010
全国英語教育学会
大阪研究大会

神戸学院大学 中西 のりこ
nakanisi@ba.kobegakuin.ac.jp

1. はじめに

■ 英語発音の基準（教育現場では）

✧ 学習指導要領

「現代の標準的な」発音、英語

（ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること）

✧ TOEIC[®] 2006年から

「米・英・加・豪（ニュージーランドを含む）」

「国際語としての英語（EIL）」

1. はじめに

■ 英語発音の基準(学習者のneeds)

◇ 調査A(神戸市内 大学生 $n=461$)

「ネイティブスピーカーの発音に近づけたいですか」

⇒84%が「非常に思う、そう思う」

◇ 調査B(神戸市内 大学生 $n=329$)

「どのような発音で英語を話したいですか」

⇒42%が「NS型」

⇒54%が「EIL型」

⇒全体の4%が「Japalish型」 中西(2008)

1. はじめに

✧調査B(続き) 「(スライド3の)答えを選んだ理由」

⇒EIL型の57%が「intelligibility」

ex)「意思疎通できればよいからEILでOK」

⇒NS型の38%が「intelligibility」

ex)「意思疎通のためNS発音が必要」

⇒NS型の36%が「prestige」

ex)「かっこいい発音で話せるようになりたい」

中西(2008)

1. はじめに

■ 英語発音の基準（「かっこよさ」とは？）

「標準的な」発音（NE）とカタカナ発音（JE）話者の魅力

仮説1. 聞き手による違い

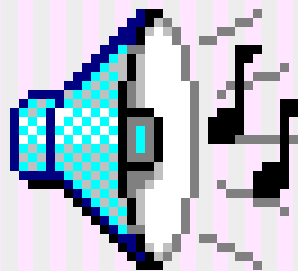
英語使用者（E-user）と英語学習者（E-learner）ではNEに対する憧れやJEに対する寛容度が異なるのでは？

仮説2. 印象を測る尺度

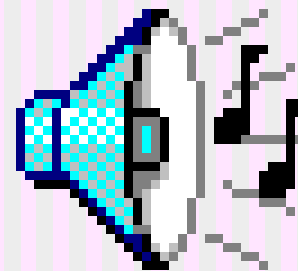
話者とどのような活動をするかを想定するかによってNE,JEの魅力度合いが異なるのでは？

2. 方法 Webアンケート調査

- ◇「標準的な」発音 (NE) とカタカナ発音 (JE)
音声作成 (Globalvoice English)



Speaker 1 (NE)



Speaker 2 (JE)

2. 方法 Webアンケート調査


✧ 質問フォーム作成


Section II

Q1 (1/19) If you would like to listen to each speaker again, click the icon bellow.

I would like to go on a hike with Speaker 1.


1 2 3 4 5 6


No, not at all.  Yes, very much.


Speaker 1. 

I would like to go on a hike with Speaker 2.

1 2 3 4 5 6

No, not at all.  Yes, very much.

Speaker 2. 

next 

2. 方法 Webアンケート調査

◇対象

⇒E-user

(実際に英語を**使用する**非日本語母語話者)
The Linguist Listを通して募集。

⇒E-learner

(国内で英語を**学習する**大学生)
神戸市内2大学の学生。

◇期間: 2009年7-11月

2. 方法 分析

◇対人魅力 下位尺度(別表) 信頼性係数

Cronbachの α 係数

	NE	JE
親密(6項目)	.85	.82
交遊(6項目)	.88	.88
承認(4項目)	.82	.87
共同(3項目)	.79	.76

◇NE,JEの魅力度を尺度ごとに得点化。

2. 方法 分析

✧NE,JE / E-user,E-learner 交互作用あり


単純主効果の検定

①E-user内	NE vs. JE
②E-learner内	NE vs. JE
③NE内	E-user vs. E-learner
④JE内	E-user vs. E-learner

「親密」「交遊」「承認」「共同」それぞれについて

①～④の検定を行なった。

3. 結果 有効回答 (E-user)

- 英語母語話者(70人)非英語母語話者(64人)
独(21),露(9),西(9),中(6),蘭(5) etc. 
- 母語以外に話せる外国語
0(12人), 1(41人), 2(44人),3以上(37人)
- 居住国
英語圏(86人), 日本語圏(7人), その他(41人)
- 今までの日本滞在経験
1年以上(4人), 旅行で来日(13人), なし(110人)
- 日本語話者の知り合い
多い(8人), 数人(12人), 少ない(28人), なし(86人)

3. 結果 有効回答(E-learner)

- 英語専攻(92人)

TOEIC $M=633(SD=117, n=23)$

- 非英語専攻(96人)

TOEIC $M=374(SD=96, n=66)$

3. 結果 単純主効果の検定

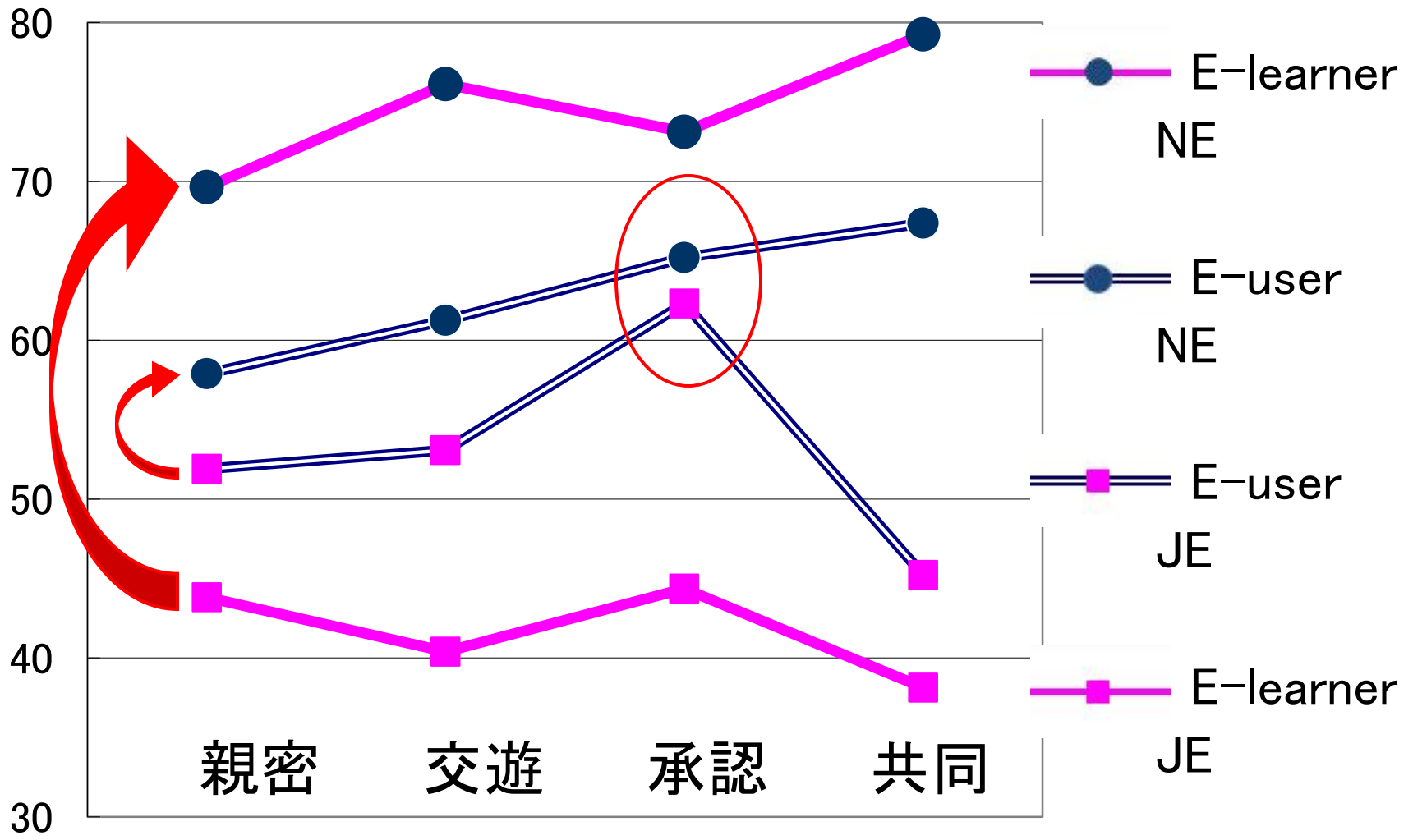
NE / JE 魅力の比較

	親密	交遊	承認	共同
①E-user内	NE > JE	NE > JE	<i>n.s.</i>	NE > JE
②E-learner内	NE > JE	NE > JE	NE > JE	NE > JE

不等号がついているものは、いずれも $p < .01$

- ✓ ほとんどのケースで、NE魅力 > JE魅力
- ✓ E-userによる「承認」に関する魅力のみ、NE/JE間に有意差なし。

3. 結果 4つの魅力平均 (NE/JE)



3. 結果 単純主効果の検定

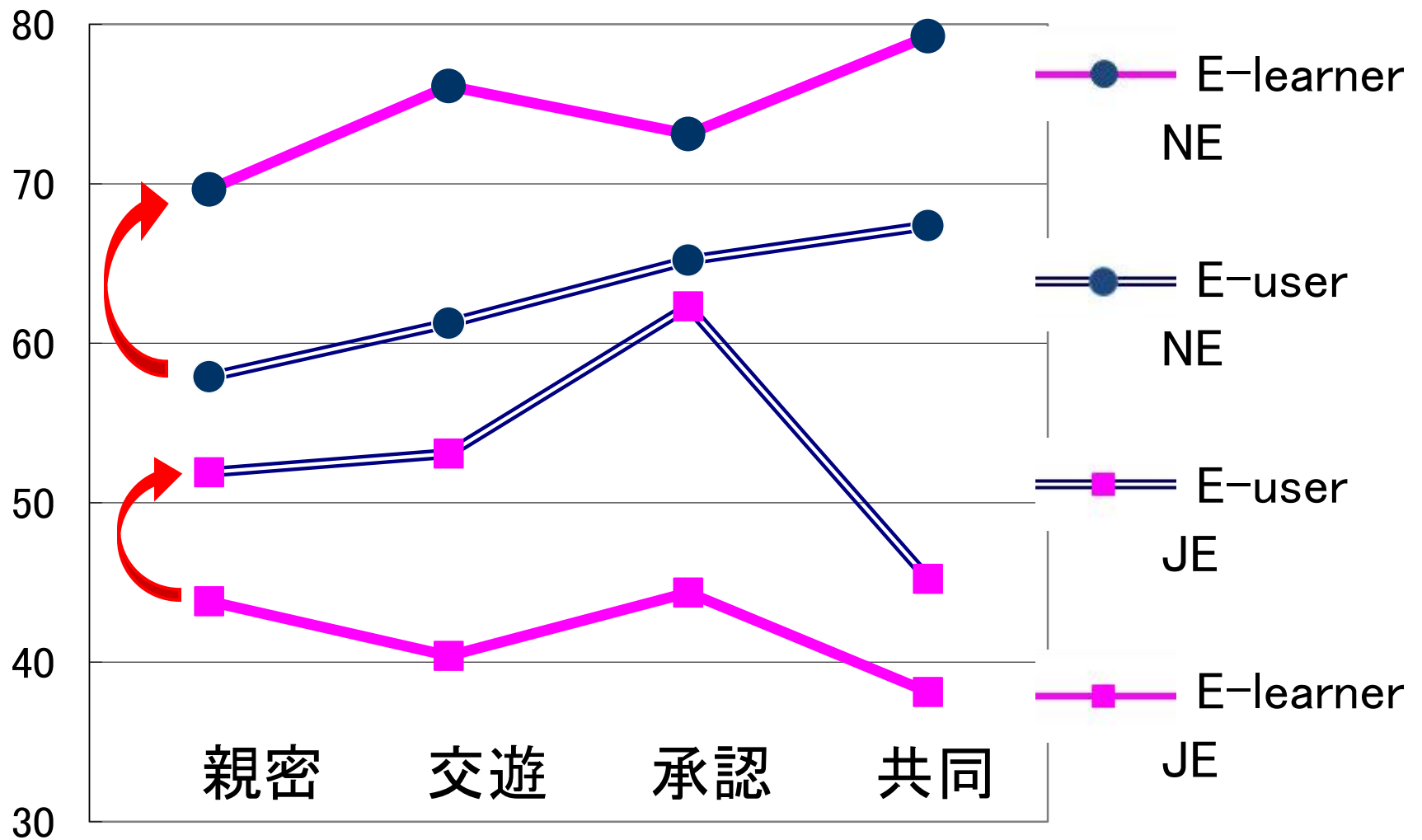
E-user / E-learner 評価の比較

	親密	交遊	承認	共同
③NE内	$u < l$	$u < l$	$u < l$	$u < l$
④JE内	$u > l$	$u > l$	$u > l$	$u > l$

不等号がついているものは、いずれも $p < .01$

- ✓ NEについては、E-learner > E-user。
- ✓ JEについては、E-user > E-learner。

3. 結果 4つの魅力平均(u / I)

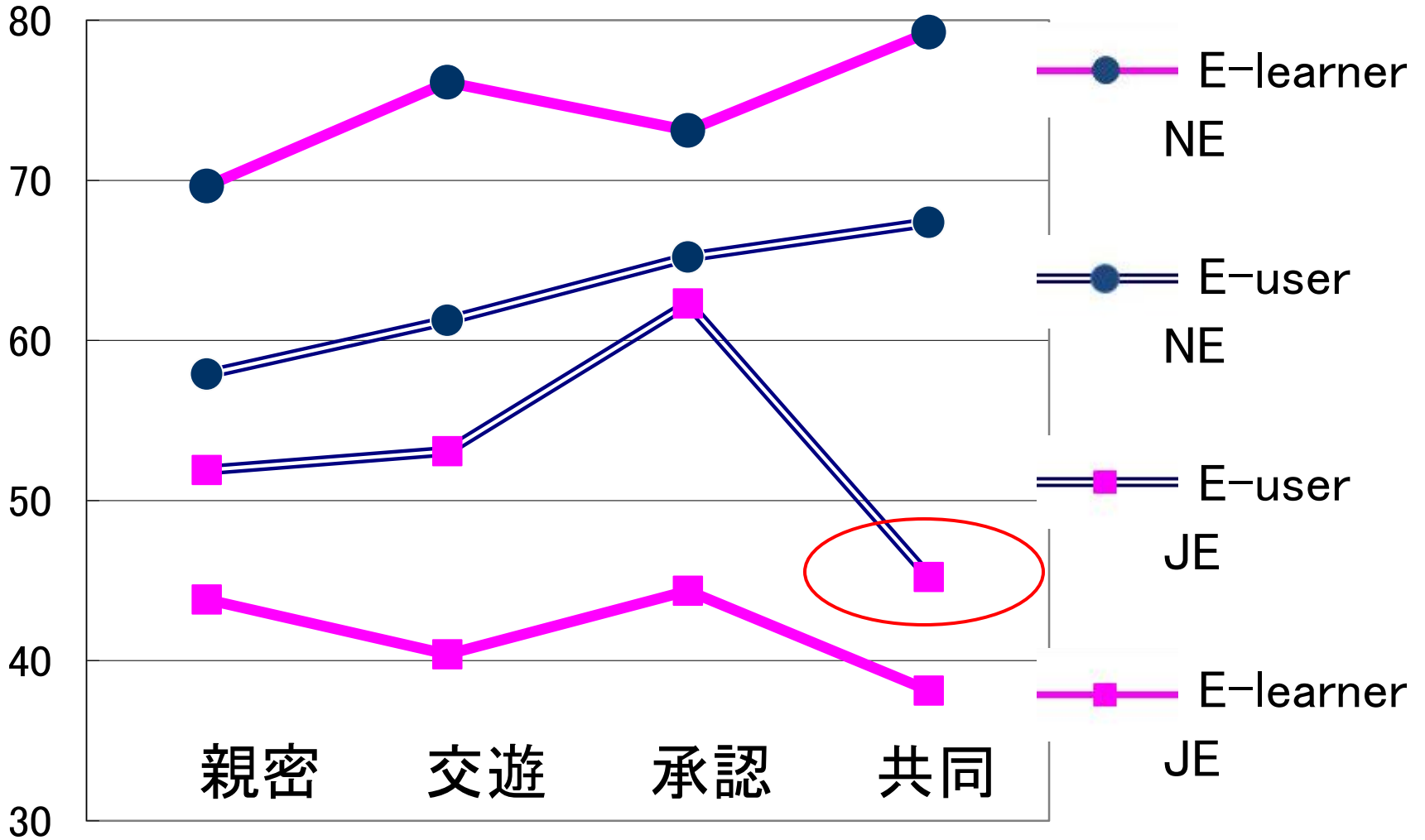


3. 結果 NE優位度

	親密	交遊	承認	共同
E-user	5.99	8.17	<i>n.s.</i>	22.14
E-learner	25.83	35.72	28.75	41.14

- ✓ E-user「共同」、NE優位度が他より高い。
(JE評価が他より厳しくなるため)

3. 結果 4つの魅力 平均



3. 考察 **NE / JE**

①ほとんどのケースで、NEの魅力の方が高い。

⇒ 学習者はカタカナ発音よりは「標準的な」英語発音の習得をめざすべき。

②E-user「共同」ではJE魅力が他より低い。

⇒ 特に、課題志向的な活動を英語で行なうことを目標にする学習者は、カタカナ発音を修正すべき。

③E-user「承認」ではNE/JE 魅力に有意差なし。

⇒ カタカナ英語発音でも話者の知性や信頼性が疑われるわけではない。

3. 考察 E-user / E-learner

④ E-userはE-learnerほど高くNEを評価しない。

⇒ 学習者は過度に「標準的な」英語発音の習得にこだわらなくてよい。

⑤ E-userはE-learnerほど低くJEを評価しない。

⇒ 学習者は過度にカタカナ英語発音を恥じなくてよい。

日本の教育現場では、カタカナ発音が
どのように評価されるか実感しにくいいため、
NEへの憧れ、JEへの嫌悪感が強くなる？

4. 今後の課題

■合成音声の問題点。

⇒「機械的な音声では、話者のイメージがわきにくい」

■実際のEIL環境に近い形での聞き手の意識。

⇒今回のE-userは言語に対する意識が高い回答者に偏った可能性が高い。

■学習者(英語専攻、非英語専攻)間の差。

⇒学習者が何を目標に英語学習をしているかによって、どのような発音の話者を好むかに差があるかもしれない。

参考文献

The Linguist List

<http://linguistlist.org/issues/20/20-3964.html>

TOEIC®公式サイト <http://www.toEIC.or.jp/>

文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

中西のりこ(2008)「英語を専門としない学生の発音学習に対する意識 - World Englishes時代に求められる英語発音」『神戸学院大学経営学論集』, 第5巻1号

藤森立男(1980)「態度の類似性、話題の重要性が対人魅力に及ぼす効果 - 魅力次元との関連において」『実験社会心理学研究』, 第20巻1号